



八丈島ぐらし通信 8

2022年4月発行



ジョウビタキ(K)

ミサゴ(K)

チョウゲンボウ(K)

カシラダカ(K)

クロアシアホウドリ(T)

ホオジロ(T)

イイジママシクイ(T)

モズ(T)

オーストンヤマガラ(T)

アオバスク(K)

タネコマドリ(T)

シチウメジロ(T)

カラスバト(T)

タゲリ(K)

アカコッコ(T)

ツバメドリ(K)

カワセミ(K)

ミヤマヒタギ(K)

今月の話題

写真提供：高須 英之さん(T)、川崎 喜弘さん(K)

島外からの八丈高校受験

八丈島ってどんな島？

バードアイランド

4月の歳時記

八丈島フリージアまつり

フリージアの見事な花畑と春の息吹が八形山に映えます。島の春はフリージアからはじまり、島らしさを最も実感すると誰もが認め、誇れる季節です。

「八丈島の春を彩るフリージアを活かそう」と、観光協会の主催で昭和 42(1967)年に第1回を開催した「八丈島フリージアまつり」は今年で第 56 回を迎え、コロナ禍で危ぶまれながらも、関係者・機関の努力で賑やかに開催されました。初回から半世紀を超え、球根栽培、切り花栽培など日本のフリージア生産をリードし、病害や輸入緩和など様々な困難を乗り越えながら「フリージアの島」を発信し続けてきました。観光など地域振興への貢献は大きく、これからも島民のシンボル、産業として地域ぐるみで盛り上げる取り組みが期待されます。(理事長 内山江差夫)



写真提供：藤川 靖彦さん

今月の島ごはん

八高生のきんぼし(きんぼ)



婦人会にご指導いただき、八文学の授業で作りました。

きんぼしは、干したかんも(さつまいも)を甘く煮た郷土料理です。

きんぼしを水に浸しておき、鍋に入れたら2cm位上まで水を入れて煮込みます。汁気が少なくなったら砂糖と水を足し、とろ火でゆっくり煮ます。

※芋によりかたさが違うので柔らかくなるまで煮ます。小豆を入れるレシビもあります。



島外からの 八丈高校受験

八丈高校の卒業生が最も多かった年は1967年で、全日制は、普通科106名、園芸科28名、家政科41名、計175名でした。令和3年度の卒業生は、普通科33名、園芸科1名、家政科2名、計36名です。八丈町の人口減少とともに生徒数が激減し、ここ3年間で教員が6名削減されました。今後の高校存続が心配される状況です。八丈町では東京都の支援を受け、平成29年度からホームステイ制度を導入しました。ホストファミリーが島留学の生徒に居室と1日3食の提供を行うことで、八丈高校の生徒数増加を期待するものです。



自動車整備士
野口 謙司さん53歳)
文京区から3月に家族で移住



3月に八丈高校を定年退職
黒崎 正喜さん(60歳)
4月からホストファミリーとなる

八丈高校を知ったきっかけ

娘が中学校から島しょ部の学校案内を持ち帰りました。担任の先生が式根島へ転任したことがあり、島という選択があることを意識しました。また、知人から八丈島旅行の写真をを見せてもらい、八丈高校の生徒たちが一緒に海に飛び込んで遊んでくれたと聞き、こういう環境でのびのび育つのは羨ましいなと思ったことがあります。

娘との進路の話

将来何をしたいの?と聞いても中学生の娘にはまだ思いつかず、高校は普通科・農業系・工業系いろいろある中で、どれを選択すればいいのかもわからない状態でした。普通に都内の高校へ行き、渋谷へ行きマックに入るような高校生活でもいいのかもしれないが、父である自分が大学時代に進路変更したことなどを考え、娘の適正に合った進路について話し合いました。

園芸科の内容が素晴らしい

子供の頃から自然が好きな娘に、島に移住して島の高校へ行く選択肢もあることを伝えました。娘がすんなり「それもいいかも」と言うので、話し合う中で徐々に気持ちが八丈島へ傾いていきました。インターネットでいろいろ調べ、八丈高校園芸科の内容が良いので実際に見に行きました。広大な施設で設備も良く、バイオの研究までできるので驚きました。

生徒が少なくてもったいない

実際に園芸科の子たちが農場で作業する姿を見て感動する反面、生徒数が少ないのもったいないと感じました。高校時代にこれを身に付けたと明確にできる学科です。時代に逆行するようですが、これからも大切な分野なので、切り開いていける娘に育ててほしいと願っています。

家族で移住

30年以上働いた会社を辞めるにはいろいろありましたが、家族で移住を決めました。娘に教えてもらいたい私も勉強したいと思います。庭のある家で作物を育てます。

ホストファミリーのきっかけ

5年前に八丈高校に赴任しました。都心の高校で疲れ切っていた自分にとって八丈島の自然は大きな癒やしであり、なにより八丈高校は今まで経験してきた学校の中で最も良い学校でした。生き生きと学校生活を送る生徒たちを見ていると自分の子供を入れたかったと思うほどです。生徒減少の折、このような学校を埋もれさせておくのは非常に惜しく、島外の多くの子供たちに知ってもらい、ここで充実した学校生活を送る生徒が一人でも増える手助けをしたいという思いが芽生えました。

自分にとってのセカンドライフ

もともとセカンドライフとして田舎でペンションを開きたいと思い描いていたので、寮があれば寮長を引き受けたいところです。ないのでホストファミリーになるしかないという結論に至りました。学生の頃に2年間寮に入っていた経験や家に居候がいた経験もあり、イメージはつかめています。

拠点探しが難しい

3年前から島内の不動産を調べて数件の内見を行いました。立地条件や予算の点で難しく、なかなか決まりませんでした。知り合いに声をかけておいたことで現在借用している物件に出会うことができました。持ち主は元八丈高校の教員です。趣旨をご理解いただき、ご協力いただいています。

島留学の面接

ホームステイする生徒は書類選考と面接があります。島留学に目的意識をもって積極的に取り組める生徒に来ていただきたいと願っています。

ご協力をお願い

今年度のホームステイ説明会には20名以上の参加があり、当方男子生徒2名の募集に7名の申し込みがありました。部屋数が多い条件に合う物件が見つければ、もっと多くの生徒を受け入れることができます。物件のご提供をお願いいたします。

八丈島ってどんな島!? バードアイランド

八丈島では300種以上の鳥の記録があります。そのほとんどが島を渡りの中継地として立ち寄り、少し休んだ後に繁殖地や越冬地へ旅立つ「旅鳥(たびどり)」です。渡りの時期の春と秋にいろいろな種類の鳥が見られるのもそのためです。島に繁殖のために渡ってくる鳥は「夏鳥(なつどり)」、島で冬を越す鳥は「冬鳥(ふゆどり)」と呼びます。

また、1年を通して島で見られる「留鳥(りゅうちょう)」のうち、アカコッコ、タネコマドリ(コマドリの亜種)、オーstonヤマガラ(ヤマガラの亜種)、モスケミソサザイ(ミソサザイの亜種)などは伊豆諸島南部が主な分布域で、これらの鳥を見るために島を訪れるバードウォッチャーもいます。島の人たちにとっては馴染みの鳥ですが、希少価値はとて高いのです。※亜種とは固有の特徴を共有し、特定の地域に分布する集団。

そして、八丈小島で繁殖を始めたクロアシアホウドリも人気の鳥です。アホウドリ類は海鳥と呼ばれ、繁殖時期以外は外洋で過ごします。わざわざ海鳥を見るためだけに東海汽船の航路を利用する方もいるほどです。

鳥はとて身近な生きものです。双眼鏡を利用すれば、いろいろな行動も観察できます。これから鳥の増える季節なので、家の周辺からバードウォッチングを始めてみてはいかがでしょうか?



高須 英之さん
八丈ビジターセンター長

WEB
<http://www.hachijo-vc.com/>

西側海岸エリア
ウミネコ、ウミウ、ホオジロ、クロアシアホウドリ、イソヒヨドリ、など

底土海岸エリア
ハクセキレイ、ホオジロ、シギ・チドリの仲間、ウミウ、シヨウビタキ、ミサゴ、など

和泉親水公園周辺
カモの仲間、モズ、カワセミ、カラスバト、など

南原スポーツ公園周辺
サギの仲間、タヒバリ、シギ・チドリの仲間、など

八丈植物公園
シジュウカラ、シチトウメジロ、ヒヨドリ、キジバト、アカコッコ

三原山の林道 (三原林道、こん沢林道、鴨川林道、沢の小径)
島ならではの鳥がたくさん!
オーstonヤマガラ、タネコマドリ、イイジママシクイ、アオバズク、モスケミソサザイ、など

冬-春 クロアシアホウドリ(T) 2メートル!!

冬-春 ミサゴ(K)

春&秋 オシドリ(K)

秋 エリマキシギ(K)

秋 アカコッコ(T)

芝生のある大賀郷園地や大瀧浦園地でも見られます。

見つけるコツは生態を知ること!

園内ビジターセンターでは今見られる鳥の情報を掲示しているのでぜひ参考に!

協力:八丈ビジターセンター 写真提供: 高須 英之さん(T)、川崎 喜弘さん(K)

八丈島バードマップ

八丈生まれ、八丈育ち。写真撮影歴は20年位です。バードウォッチング・撮影を始めたのは、趣味のホエールウォッチングがきっかけです。クジラを追いかける日々を送っていましたが、クジラシーズンが終わると手持無沙汰に…そんなときに、何かないかと思いつき鳥を撮影してみました。すると、小鳥の可愛さ、感動レベルの美しい羽根の色等に魅了されたほか、たまたま撮った鳥がなんと!伊豆諸島初記録「ミヤマヒタキ」だったことで、バードウォッチングにもどっぷりつかることとなりました。

バードウォッチングのコツといえるかわかりませんが、ビジターセンター情報をHPで確認し、情報の場所へ行く、または、林道等へ行き静かに耳を澄まし、広範囲を見る様にします。すると鳴き声やかすかに動く葉が見えてきて、野鳥を発見することができます。双眼鏡があればベストです。島には年間を通じ季節により多種多様な鳥たちが訪れてきて観察できます。移住者の皆様もバードウォッチングを趣味の一つに加えてみてはいかがでしょうか?貴重な野鳥を見るチャンスがすぐそばにありますよ。



川崎 喜弘さん
バードウォッチング歴2年

表紙に掲載した鳥たちを見たことがありますか?野鳥のさえざりで目覚める暮らしがこの島には普通にあります。山奥に入らなくてもたくさんの野鳥を見ることが出来ます。国の天然記念物アカコッコは町中にもいます。アロエや桜の花にはメジロがやってきます。春になればウグイスが八丈方言でさえざります。海辺には幸せの青い鳥がいるバードアイランドです。



スポンサー&サポーター募集中!

詳細はQRコードから

スポンサー

会報誌やホームページへの広告掲載にて本会をご支援ください!

【会報誌広告掲載】1ヶ月 5,000 円、6ヶ月 25,000 円
 【HP バナー広告掲載】6ヶ月 18,000 円、特典としてHP に記事広告を1本掲載致します。



サポーター

【特典】①会報誌『八丈島くらし通信』を定期的にお届け致します。②移住者・島民の交流イベントをご案内致します。

【個人会員】どなたでもHPよりお申込み頂けます。年会費 3,000 円。

【法人会員】お申し込みは事務局まで。年会費 10,000 円。



ご寄付

ご寄付のみのご支援も承っています。

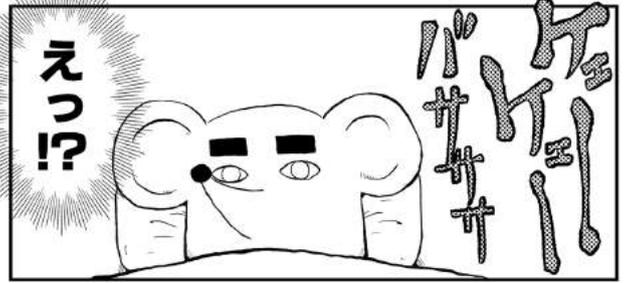
お振込先など詳細はQRコードからご覧ください。



移住のチューウ

by Hasne

移住6年目在宅ワーカーの島暮らしエッセイまんが



シェアオフィス&レンタルスペース

リモートワーク・打ち合わせに

勉強やひとりの時間に

みんなの
ひみつ基地
HACHIJU-JIMA

営業時間 9:00-18:00
年中無休 ※年末年始を除く

himitsukichi8jo.tokyo

職員募集中!

島を元気にしていくために、力を貸して下さい。
 ヤル気があれば、経験不問です

【募集職種】総合職(営業、事務)
 【応募資格】高卒以上※要普通自動車免許
 【勤務地】八丈島、大島、新島、神津島、三宅島、父島
 ※パート職員希望の場合も相談に応じます。
 【お問合せ】七島信用組合総務部(伊豆大島)
 採用担当: 平林・山本 TEL: 04992-2-1661

七島信用組合

HELP!

空家急募!

賃貸&売却

「八丈島に移住したいけど住む家がない」というご相談が多く寄せられています。空家を島の未来のために活用しませんか? 空家をお持ちの方、情報をご存知の方は、ぜひ移住協へご相談ください!

先生

を探しています!

島内学校の先生ができる人を探しています。産休や育休の先生の代わりにお勤めいただいたり、講師として授業や部活を担当していただけます。教員免許状をお持ちの方は、登録にご協力ください。
 ※お待ちの方の免許状の校種や教科を教えてください。
お問合せは移住定住促進協議会まで